

各会派 基本方針

いばらき自民党



いばらき自民党
議員会長

葉梨 衛

新しい時代の 茨城づくりに決意

いばらき自民党は、昨年暮れの改選においても絶対安定多数を維持しました。県民の皆様から寄せられた温かいご支持の賜物であり、心より感謝申し上げます。歴史的な皇位継承による「令和」という新しい時代の幕開けを前に、所属議員三十八名は改めて県民の負託に応える決意を新たにいたしました。

新生県議会は先の第一回定例会で本格始動し、大井川知事が「まかれた種から徐々に出始めている芽を大きく育てる予算」と強調した新年度予算案などの審議を通して、「新しい茨城づくり」の第一歩を踏み出しました。

人口減少が急速に進む中であって、茨城の輝かしい未来を実現していくため、県の総力を挙げて地方創生に取り組みとともに、県民の安全安心を確保して、本県発展に向けた施策の着実な推進を図ることを第一に挙げています。私たちに前期も、四月一日に施行された子どもを虐待から守る条例など、政策条例七本を制定した実績があります。全国トップレベルの取り組みであり、今期も既に、いじめ防止に関する条例案の策定作業を進めています。

今後とも、こうした政策立案機能を大いに発揮するなど、政務活動の一層の活性化はもとより、二元代表制の下、大井川県政に対しては是非々々で臨み、新たな県総合計画が基本理念に掲げる「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現にチャレンジするなど、県勢の発展と県民福祉の向上に努めてまいります。県民の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

県民フォーラム



県民フォーラム
代表

齋藤 英彰

生活者・働く者の 視点で政策の実現を

昨年十二月の改選において、県民の皆様のご支援を賜り、新たな仲間を加え改選前と同様の五名体制で新たな任期がスタートしました。私達は本会議をはじめ、各委員会において政策要望の実現と県民の負託に応える活動を進めて参ります。少子高齢化、人口減少、格差社会が進展する今日において地方が安定した成長

を遂げるためには、地方議会の担う役割はこれまで以上に重要なものであり、地域に寄り添ったきめ細やかな行政サービスが求められます。私達は「生活者」「働く者」の立場に立ち県民が安心して暮らせる共生社会の創造を目指し、地域に根差した政策の実現と地方分権型社会の構築に向け積極的に取り組んで参ります。そのために、「自由」「共生」「未来への責任」を掲げ、マニフェストに示した十のテーマと具体的な政策の実現に向け、行財政改革、労働環境の整備、地域医療の充実、産業の活性化、子育て環境の整備等に地域の声とともに取り組んで参ります。今後とも、県民の安全安心、豊かな生活の実現に会派一丸となって県政発展に取り組む所存ですので、引き続き県民の皆様のご指導・ご鞭撻を宜しくお願い致します。

自民県政クラブ



自民県政クラブ
代表

半村 登

県民の目線に立ち 全力で取り組む

昨年十二月の県議会議員選挙では、県民の皆様のご支援を賜り、四人の議席を頂きました。ご支持を頂きました県民の皆様は改めて心より厚く感謝を申し上げますとともに、今後も身を引き締め、責任の重さをかみ締め、議員活動を進めてまいりたいと思

います。さて、我が国は、急速に人口減少や少子高齢化、東京圏への過度な一極集中が進行しており、本県においても若者の県外への流出は深刻であります。私たちが自民県政クラブでは、次世代を担う子どもたちのために何を残していくべきかを考え、未来への責任を果たすとともに、県民の皆様のご生活を第一に、医師不足問題の解決や介護人材の確保をはじめ、雇用対策や農業の生産性向上、グローバル社会における多文化共生社会の構築、東日本大震災や関東・東北豪雨災害などを踏まえた強靱な県土づくりなど、県民の目線に立つて、力の限り取り組んでまいります。今後とも、県民の皆様の声に耳を傾け、会派としての責任と役割を果たしてまいります。

公明党



公明党
議員

高崎 進

県民に寄り添い 小さな声も政治に反映

昨年十二月の県議選では、改選前と同様の四議席を獲得することができました。県民の皆様のご支援に心より感謝申し上げます。急速な人口減少・少子高齢化の進行など、これまでに経験したことのない時代の転換期を迎える中、茨城県が大きく飛躍できるかどうかは、今後の十年間が極めて重要な期間になってまい

ります。茨城県では、この時代の変化に的確に対応し、未来に希望を持つことができる「新しい茨城」づくりを県民とともに推進していくため、平成三十年からの県政運営の指針となる新たな県総合計画を策定しました。この県総合計画には、公明党が強調したSDGs（持続可能な開発目標）が県政運営の基本理念として位置付けられました。二〇一五年に国連サミットにおいて採択されたSDGsは、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済、社会及び環境をめぐる広範な課題に対して統合的に取り組むこととしていきます。公明党は、県民に寄り添い小さな声も政治に反映し「住んでいる人が日本一幸せな県・いばらき」づくりに全力を尽くしてまいります。

新自民クラブ



新自民クラブ
代表

坂本 隆司

スピード感をもって 政策を実現

私たち三名「坂本隆司（龍ヶ崎市・利根町選挙区）、沼田和利（牛久市選挙区）、村田康成（神栖市選挙区）」は、昨年十二月の茨城県議会議員選挙において、県民の皆様のご支援をいただき、初当選させていただきました。改めて心より厚く感謝申し上げます。今回私たちは、いばらき自民党の諸先輩方のご指導の下、新人議員三

名で「新自民クラブ」を結成することとしました。三名の新人議員共に地元で市議会議員を経験し、年齢も全員四十代ということもあり、初登庁以来意見交換する中で向かう方向が同じことが多いことや政治理念が一致することも重なり、会派結成にいたしました。これからの茨城県における人口減少問題、少子高齢化問題に迅速に対応するためにはスピード感をもって政策を実現することが最も重要だと考えます。しかし新人議員だけでは物事は進みません。そこで私たちは、いばらき自民党の皆様にご指導をいただきながら、若さと行動力をもって活動してまいります。県民の皆様のご支援を大切に、そして茨城県が飛躍するよう努力してまいりますので、県民の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。